

2008 年度事業計画

1. 事業計画上のポイント

2008 年度の事業計画を立案するにあたって考慮すべき状況と、重点課題として取り組む事業のポイントは、以下のとおりである。

① 骨髄移植推進財団の事業計画

関西骨髄バンク推進協会は、骨髄移植推進財団の支援を活動の大きな柱としている。したがって、2008 年度の事業計画の策定にあたっては、骨髄移植推進財団の事業計画の内容をふまえる必要がある。

(1) 骨髄移植推進財団 平成 20 年度事業計画における数値目標

- ・年度内移植件数 1,000 件（国内）、20 件（国際（受領 5 件、提供 15 件））
- ・年度内確認検査数 5,900 件（内、国際（海外提供）200 件）
- ・年度内新規ドナー登録者数 30,000 人（有効ドナー数）

(2) 骨髄移植推進財団 平成 20 年度事業計画 事業実施の基本方針（抜粋）

ドナー登録者数が 30 万人に到達したものの、移植率は未だ 6 割弱に留まっている現状に鑑み、一人でも多くの患者救命を目指し、平成 20 年度において、主に以下の事業に取り組んでいくものとする。

- 1 更なるドナー登録者の拡大のための事業
- 2 ドナー登録者の骨髄提供意思の維持に向けたドナー環境作り事業
- 3 ドナーコーディネート期間を短縮するための事業

(3) 骨髄移植推進財団 平成 20 年度事業計画 普及啓発事業

- 公共広告機構のキャンペーンが平成 20 年 6 月中断する見込みであるが、一日も早く再開がなされるよう働きかけていく。また、ボランティアの方々とともに地域に根ざしたきめの細かい普及広報活動に一層取り組んでいく。ドナー登録体制の見直しや強化を図り、一人でも多くのドナー登録をめざし、普及啓発活動を実施する。
- コーディネートがドナー理由によって初期段階で終了する事例も多いことから、ドナー登録者に骨髄提供意思を維持（リテンション）してもらうため、ドナー本人に加え職場や家族の理解促進や協力を求める活動を行う。

※以下、「普及啓発事業」の3つの業務について、項目のみを記載するが、関西骨髄バンク推進協会としての事業に関わる項目のみ、内容を記載する（太字）。

【普及広報業務】

1. 広報推進委員会の設置
2. 骨髄バンク推進全国大会.
3. 広告宣伝活動
4. 各種媒体による活動
5. 青少年に対する広報活動
義務教育・高校・大学や専門学校に対して「出前事業」や「かたりべ活動」を行う等、青少年に対する広報活動の強化を図る。
6. 地域活動の強化
ボランティア団体、日赤奉仕団などとの協力関係を強化し、講演会開催など地域における草の根レベルでの普及広報活動を推進する。
7. ホームページの充実

【登録推進業務】

1. ドナー登録の活発な展開
一人でも多くのドナー登録者を確保するため、引き続き、日赤、地方自治体、ボランティア団体の協力を得て、財団主催のドナー登録会を全国で開催するほか、日赤などの協力により、献血会場におけるドナー登録受付を推進する。さらに地域のボランティアの協力により、ドナー登録会のPR強化に努める。
2. 「骨髄バンク連絡推進協議会」の再構築等
都道府県単位で設置する「骨髄バンク連絡推進協議会」の再構築を図ること等により、登録会を活性化し、いわゆる草の根レベルでドナー登録の実績を向上させるとともに、骨髄バンクの普及広報にも努める。
3. 地区普及広報委員、説明員活動の向上等
ドナー登録会の開催運営に中心となって活動している地区普及広報委員、説明員について、研修の機会の確保や活動条件の向上に努める。

【ドナーリテンション業務】

1. ドナー登録者の提供意思の維持のための施策
2. 企業・団体への「ドナー休暇制度」導入や「有給休暇」取得の働きかけ
3. 正確な情報提供

② 2008 年度事業計画における重点事業

以上の計画をふまえ、2008 年度事業計画策定にあたり、特に以下の点を重視する必要がある。

(1) 普及広報に関わる取り組みの充実・強化

骨髄バンク事業への市民の共感を得るため、ボランティア団体でなければ伝えられないものを伝える取り組みを考える。

市民活動の強みを生かした活動を充実させる。

(2) 有効ドナー登録者数の増加への取り組み

有効ドナー登録者数を増やすため、行政、日赤、財団等が連携して課題に取り組むことができるよう、関係者間のコミュニケーションの強化に努める。

(3) 収支バランスの良い財政確立に向けての努力

関西骨髄バンク推進協会は、2005 年度より、3 年度連続して、単年度収支が赤字となっている。繰越金が年々減少し、次年度以降の運営が危ぶまれる状況にある。効率的・効果的な支出への努力と、寄付者・賛助会員の拡大のため、事業紹介の資料作成などにより、財源の確保に努める。

2. 2008 年度の事業計画と組織

《事業の推進計画》

① ドナー募集支援事業

献血併行型登録会の開催を中心に、開催回数の少ない地域では、開催回数を増やし、一人でも多くの提供につながるドナー登録を目指す。そのために、関係者と、良好なコミュニケーションを構築する努力をする。

② 講師派遣事業

骨髄移植推進財団が、今年度より事業を開始する「骨髄バンク語りべ等派遣事業」と連動し、講師として派遣できる人材の発掘、育成に努める。

また、骨髄バンクを題材としたワークショッププログラムを作成し、積極的なPRを考える。

③ チャリティー事業（啓発活動）

骨髄バンクへの理解と支援の繋がりを広げるとともに、財源を確保するため、チャリティー事業を行う。

- (1) 第8回 骨髄バンク&京阪・兵庫さい帯血バンク支援チャリティーゴルフ大会
開催日：2008年11月24日（月・祝）

会 場：有馬ロイヤルゴルフクラブ

- (2) 第3回骨髄バンクチャリティーコンサート 「いのちを紡ぐ」

開催日：2009年1月31日（土）

会 場：ドーンセンター7階ホール

- (3) その他（啓発と募金活動・展示即売などを実施予定）

*骨髄バンクチャリティーコンサート 2008/6/14 大阪府立健康科学センター

*土曜の午後はシャンソンで！ゲンキープコンサート（2ヶ月に1度）

大阪府立健康科学センター（8月以降未定）

*国際グランプリ陸上大阪大会 2008/5/10 長居スタジアム

*新極真会 骨髄バンクチャリティー全日本ウエイト制空手道選手権大会

2008/5/17.18 大阪府立体育会館

*新極真会 骨髄バンクチャリティー大阪府空手道選手権大会

2008/7/13 羽曳野コロセアム

*セレッソ大阪ホームゲームでの啓発と募金活動 長居スタジアム

*第9回ワクワクフェスタ 2008/5/25 ネヤガワドライビングスクール

*骨髄バンク支援 川島弘「ぼくとシャンソン」

2008/10/25 兵庫県立芸術文化センター小ホール

*福知山産業フェア

*スミセイニューマニー活動

*大阪府青少年赤十字高校生チャリティーバザー

*動物臨床医学会年次大会

*イオン黄色いレシートキャンペーン（随時）

④ 血液難病等患者支援事業

大阪生野ライオンズクラブによる

セレッソ大阪 子供サッカー教室と病気の子供たちのサッカー観戦（仮称）

開催日：2008年10月26日（日）

会 場：長居スタジアム

⑤ 説明員研修事業

骨髄バンクドナー登録会の際に、登録希望者への説明と手続きを行う説明員の研修会を開催することにより、説明員の質の向上を目指す。また、新規に、説明員を養成するための研修会も実施する。

- 福知山説明員研修会 2008/6/29 福知山赤十字血液センター
 - 第7回説明員研修会 2008/9 大阪府立成人病センター会議室（予定）
 - 第8回説明員研修会 2009/3 大阪府立成人病センター会議室（予定）
- （大阪での開催は、大阪府からの受託事業として実施する。）

⑥ 会報発行事業

会報『関西協会ニュース』を年度内に2回発行する。

第47号（2008/7/25 発行予定） 第48号（2009/1 発行予定）

《事業を支える組織と財政の強化》

① 人的な事業推進態勢の充実

- （1）「理事会」の開催
- （2）「総会」の開催
- （3）「ボランティア募集」送付方法の見直し
- （4）会員の拡大に向けた努力
- （5）ホームページのリニューアルと活用

② 財源の確保と財政運営

- （1）収入の維持・拡大
- （2）支出の適正化